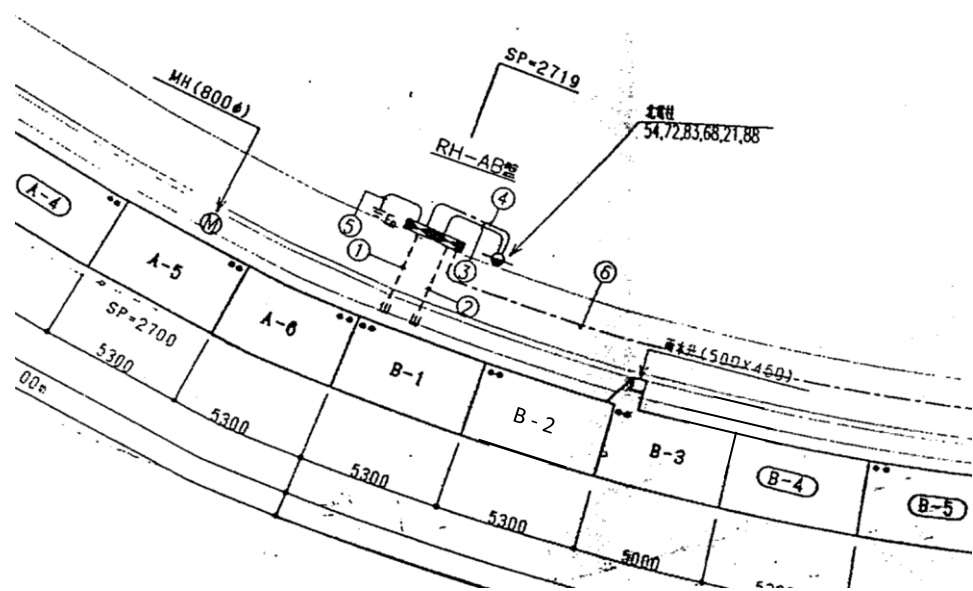


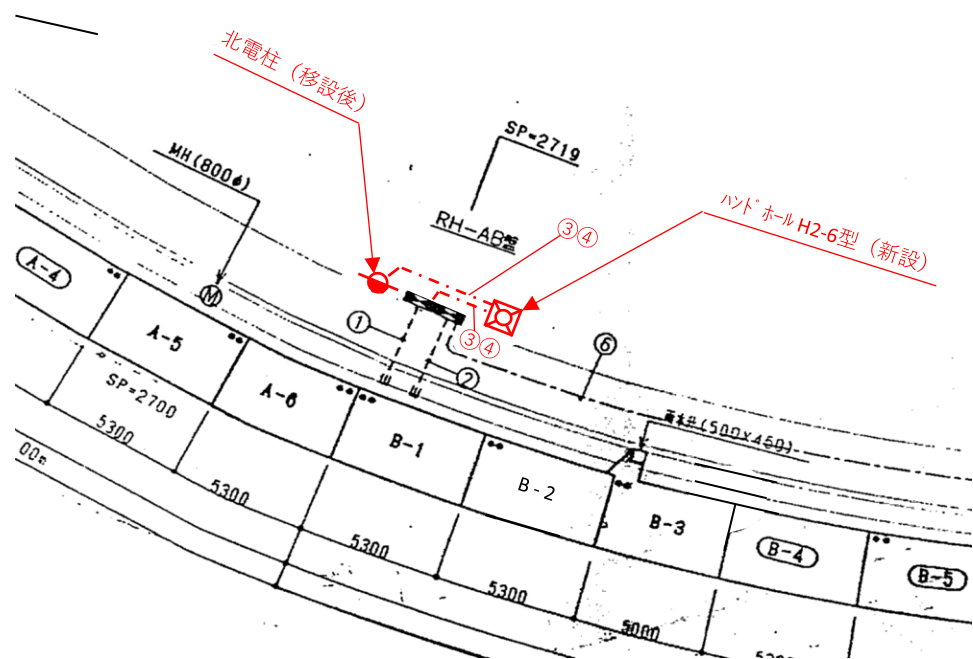
電柱移設に伴う配管配線工事

RH-AB盤 電柱移設前



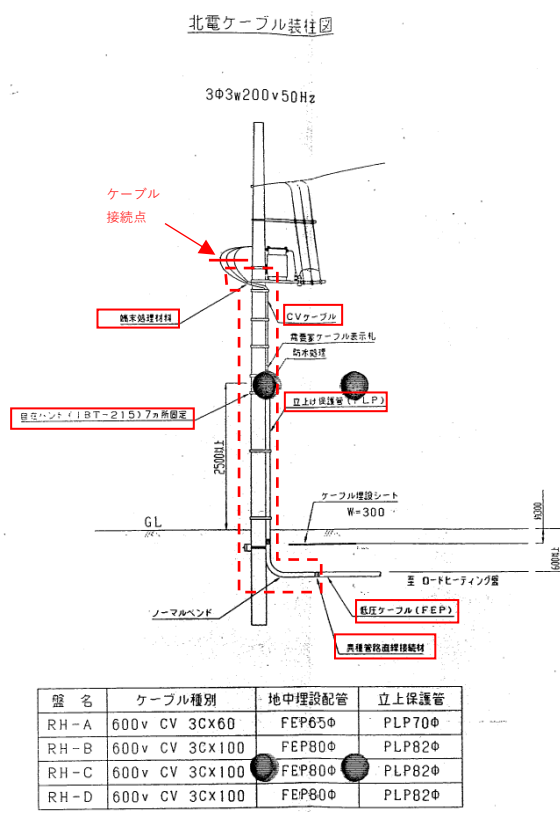
③	600V CV60 [*] -3C	(FEP65/PLP70)	RH-A電源
④	600V CV100 [*] -3C	(FEP80/PLP82)	RH-B・C・D電源

RH-AB盤 電柱移設後



③	600V CV60 [*] -3C	(FEP65/PLP70)	RH-A電源
④	600V CV100 [*] -3C	(FEP80/PLP82)	RH-B・C・D電源

北電柱立上げ（ケーブル・配管）RH-AB盤,CD盤 共通



- 電柱移設前（抜柱）作業としては、
- ①電柱上で、CVケーブルの切り離し
 - ②CVケーブルの撤去（電柱～盤内）
 - ③自在バンドで固定している電線管(PLP)の撤去

- 復旧）電柱建柱の作業として、
- ④新しい電柱へ立上げ管(厚鋼G管)を自在バンドで固定、埋設管(FEP)は直線接続材を利用し必要な長さまで延長
 - ⑤新しいCVケーブルを盤（ハンドホール）から電柱上まで敷設（通線）
 - ⑥電柱上で、北電幹線とCVケーブルを接続
 - ⑦RH盤内の北電メータに接続
(北電メータを交換か既設のままかは北電による)
 - ⑧上記作業後、北電の検査を受け、受電開始
 - ⑨RH設備の動作確認の試験調整実施